

検査の器械のご紹介・胃カメラ

さて今回はいよいよ胃カメラの話です。正確に言うと「胃カメラ」というのは内視鏡の先端にフィルムを入れて撮影する装置で、実は私も写真でしか見たことはありません。15年前に私が「胃内視鏡」をはじめた頃は「ファイバースコープ」でフィルムは体外の装置で撮り、医者は内視鏡のレンズをのぞき込んでいました。

今のような「電子内視鏡」になったのは10年位前からです。仕組みは今はやりの「デジカメ(デジタルカメラ)」と同じで、CCDという光を電気信号にかえる装置を使ってテレビ画面に映し出して検査します。電子内視鏡ができたために、検査医とそれを補助する看護婦等との連携が容易になり、検査時間も短縮され、患者さんも楽になりました。

それでも「胃カメラ」と呼ぶ方がわかりやすいので、どうしても胃カメラと呼んでしまいます。正式には「上部消化管内視鏡検査」といいます。

当院の胃カメラは最新式の装置で、大病院で使われているものと同じです。診療所向きの安価な装置もありますが、画像の質がかなり違います。

左下の写真の上側、黒い棒状のものが内視鏡です。直径は約9mmでうどんくらいです。先端以外はかなりやわらかいので、患者さんにかまれて故障することもあります。子供でもこのカメラで検査ができます。(さすがに1才の子供では、もう少し細いカメラを使いましたが)

右下の写真がカメラの先端です。2か所から光が出ています。これで胃の中を照らして明るくします。わかりにくいですが、下の丸いのがレンズで、ここで光を受けてその奥にあるCCDで電気信号に変換します。右上の(黒く見える)穴を通して組織検査などのための器具を出し入れします。左の白く見える部分からは水が噴射されて、レンズを洗ったりします。



2枚目に続きます。

ゴールデンウイークを皆さんはどのように過ごされましたか。

私は5月3日に八尾市の休日診療所に当番で行きました。小児の風邪が多く、年末年始以外では珍しいほどの混雑でした。午前10時から午後4時までの間に52人の診察をしましたが、4月29日(祝)は11人だったそうです。少子化と言われていますが、病気の子供だけでもこんなにたくさんいるのかと驚きました。評判のよい小児科が混雑するのがよくわかりました。

さて、久し振り(20何年前の高校以来?)に「徒然草」(兼好法師作)を読みましたので、その中の一文を書きます。700年近く前の随筆集ですが、今でも十分通じるものがあります。心当たりのある方も多いのではないのでしょうか。必要なさそうですが、私なりの解釈をつけました。

院長 菊池 博

友とするにわるきもの(徒然草・第一七段)

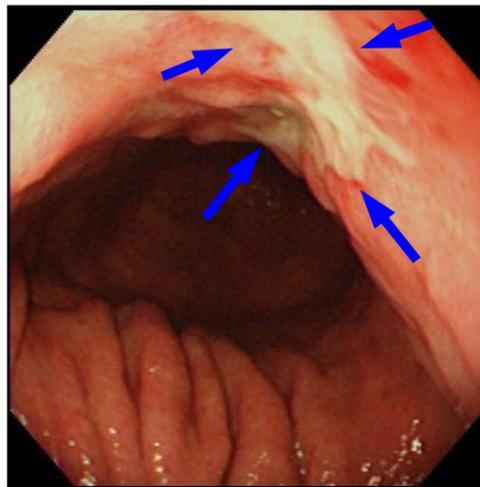
友とするにわるきもの七つあり。一つには高くや
 んごとなき人、二つには若き人、三つには病なく身
 つよき人、四つには酒を好む人、五つには武く勇め
 る兵、六つには虚言する人、七つには欲深き人。
 よき友三つあり。一つにはものくるる友、二つに
 はくすし、三つには智慧ある友。

友人にするのにふさわしくない者が七つある。

1. 身分の高い人。われわれ庶民のことをわかってくれない。
2. 若い人。気配りに欠ける。
3. 健康な人。病人の気持ちが分からない。
4. 酒飲み。こんな友人がいると肝臓や糖尿病が良くなりません。
5. 勇気のある武士。無茶なことをする。
6. うそをつく人。
7. 欲の深い人。

友人にするのにふさわしい者が三つある。

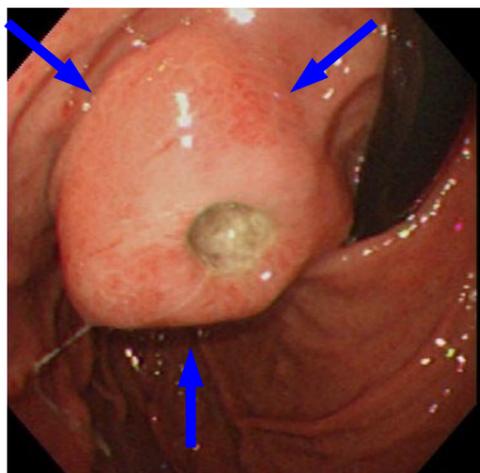
1. 物をくれる人。
2. 医者。昔は「薬師」でした。
3. 生活の智慧のある人。学歴がある人と意味ではありません。



「胃」カメラとはいいますが、内視鏡の通り道はすべて観察します。咽頭・喉頭・声帯もよく見えます。食道・胃と十二指腸の上半分までカメラを入れますが、検査にかかるのは約5分です。ただし、病気を見つけて組織検査などをすると約10分かかります。

検査でわかる主な病気は以下の通りです。

食道：食道炎・食道ポリープ・食道癌・食道静脈瘤
胃：胃炎・胃ポリープ・胃潰瘍・胃癌・胃静脈瘤
十二指腸：十二指腸炎・十二指腸潰瘍



検査だけではなく、簡単な治療も行います。たとえば、ポリープ切除、異物の摘出（魚の骨、寄生虫、針、薬の台紙など）

それぞれの病気については、今後この誌上でお話しする予定です。

当院の検査で発見した病気の写真です。

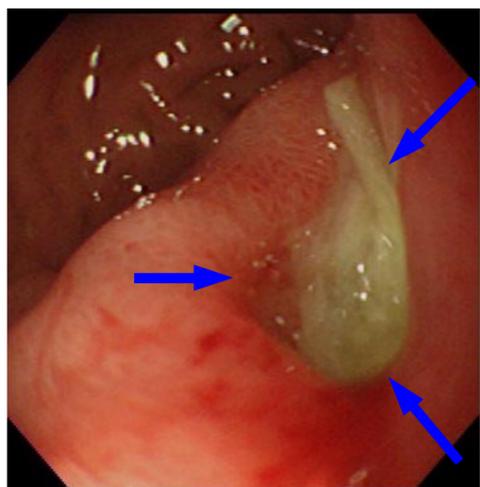
（左上）胃癌：浅い潰瘍ですが、きれいな円形ではなく不整形です。

（左中）胃ポリープ：粘膜下腫瘍という特殊なものですが、約4cmと大きいため手術となりました。

（左下）十二指腸潰瘍：かなり大きく深い傷です。放置すると出血したり、穿孔（穴があいて腹膜炎を起こす）することがあります

（下左）胃ポリープ：5mmくらいの小さいものなので、引きちぎりました。

（下右）少しだけ出血しましたが、すぐに止まりました。



往診・訪問診療について

往診および訪問診療を、患者さんやご家族の方からのご希望があり、開始しました。まだ十分な体制ができていませんが、徐々に充実させていきたいと思っておりますので、お気軽にご相談下さい。

地域振興券について

当院でも地域振興券をご利用になれます。

使用可能な期間は、**9月22日（水）**までです。

八尾市民検診をご存じですか？

基本健康診査（40才以上は無料）問診・診察・血圧測定・尿検査・血液検査・心電図

大腸がん検診（40才以上は年1回600円；70才以上は無料）問診・便潜血反応（2回）

いずれも予約は不要です。
 お気軽にお受け下さい。

署名運動について（御礼）

本年3月に病・医院の窓口などでみなさまからご協力いただいた医療危機突破署名運動では、全国から約600万人（大阪は83万6759人）の署名が集まり、4月上旬に日本医師会から衆・参両院議長あてに請願書として提出しました。

その後、4月13日には、自民党の医療基本問題調査会長が、薬剤定価・給付基準額制の導入を断念し薬価制度改革を白紙に戻すことを公表しました。

このように署名運動の目標を達成できたのも、みなさまの深いご理解と絶大なるご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

平成11年4月

日本医師会
 大阪府医師会
 当院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9～12							×
午後4～7			×			×	×

菊池内科（内科・消化器科）

〒581-0003 八尾市本町7-11-18 八尾メディカルアベニュー2F

電話 0729-90-5820 ファックス 0729-90-5830

ホームページ <http://www.kikuchi-clinic.com/>

電子メール hiroshi@kikuchi-clinic.com